

# みんなで創ろう コウノトリの里

今回のテーマは、

Vol.5

～鴻巣に残る豊かな自然①～

です!

このコーナーでは、本市に縁の深いコウノトリや豊かな自然環境とその保全に向けた取り組みなどを取り上げ、本市が進める「人にも生きものにもやさしいまちづくり」についてご紹介します。

問い合わせ／地域活性化特命チーム（内線2112）

## 豊かな自然 鴻巣で生きるたくさんの命

鴻巣市は、都心からおよそ50kmにあり、埼玉県のおおむね中央部に位置しています。地形はおおむね平坦で、市の南部は大宮台地の一部をなし、北部は低地が広がっています。また、市の南西を荒川、中央を元荒川、東を見沼代用水（星川）が流れるなど水利に恵まれた地域です。中山道やJR高崎線に沿った地域を中心に市街地が形成される一方で、荒川や元荒川に沿った地域では田畑や自然地などの土地利用が見られ、市域の約半分が農地として利用されています。

市内には、屋敷林や寺社林などを中心に樹林地が点在しています。特に、北本市へと繋がる荒川沿いには貴重な斜面林がまとまって分布しています。また、荒川に架かる糠田橋の上流側の河川敷には、埼玉県の蝶である「ミドリシジミ」をはじめとした多くの野生の生きものすみかとなるハンノキ林が広がっています。

豊かな自然が残る鴻巣市には、貴重な生きものも生息しています。平成24年7月に実施した水辺の生きもの調査では、県のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類とされた「ヌカエビ」や、環境省と県のレッドリストで準絶滅危惧とされた「トウキョウダルマガエル」、「モノアラガイ」などが確認されました。また、市内では、多くの野鳥も見る事ができます。平成27年2月と3月に実施した野鳥調査では、環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類とされた「ハヤブサ」を含め、12目23科43種の鳥（別枠参照）が確認されています。

春から夏へと移り変わり、たくさんの生きものと出会うことができる季節です。お散歩がてら、水の中や草むらなどをのぞいて、生きもの探しをしてみませんか。

### ◎市内で確認された野鳥

マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、カイツブリ、キジバト、カワラバト(ドバト)、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、タシギ、トビ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、オナガ、コクマルガラス、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、オオジュリン(12目23科43種)



トウキョウダルマガエル  
写真提供／宮川午太郎様

こんなに  
いるんだね



県の蝶「ミドリシジミ」  
写真提供／埼玉県

## コウノトリの里づくり講演会を開催しました

たくさんの生きものが生息する自然環境が私たち人間の生活にとってどのような意味を持っているのか、その重要性について、浅枝隆さん（埼玉大学教授）の講演と千葉県野田市職員による先進事例報告を行いました。



ミドリシジミっていう蝶のことを知っているかな？シジミチョウ科に属していて、4cmくらいの大きさになるんだ。主に河川敷や湿地に群生するハンノキの葉を食べているよ。県内にはハンノキが幅広く分布しているから、ミドリシジミも広く生息していて、平成3年11月14日には「県の蝶」に指定されたんだ。6月から7月にかけて、朝夕の斜陽が差すときに羽根をキラキラと緑色に輝かせて飛ぶよ。

参考資料／環境省レッドリスト2015、埼玉県レッドデータブック2008 動物編、埼玉県ホームページ

